

岐阜県立岐阜工業高等学校

学校長 永井 政義

学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町 1700 電話 058-387-4141

1 会議の名称 岐阜県立岐阜工業高等学校 学校評議員会（第2回）

2 会議の構成 委 員 加藤 なるみ 地域住民代表
河合 一郎 株式会社光製作所 総務部長（欠席）
木村 理恵 地域住民代表
近藤 隆志 名古屋鉄道株式会社 笠松駅駅長（欠席）
長屋 博明 岐阜工業高等学校育友会会長
(委員名は五十音順)

学 校 側 永井 政義 校長
田中 克久 副校長
飯沼 仁敏 事務部長
藤田 正昭 教頭(全)
羽賀 均 教頭(全)
中田 卓生 教務主任
宮浦 英夫 生徒指導主事
本田 悟志 進路指導主事
岡田 春雄 工業教育部長

3 会議の目的 学校運営等について、学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。

4 会議の開催 平成28年2月12日(金) 16:10~17:00 岐阜工業高等学校校長室
委員3人と学校側9人が出席

5 会議の概要

(1) 学校長挨拶

(2) 協議

生徒発表会について

意見 1 年々発表が上手くなっている。しかし、内容は評価できても、プレゼンに工夫がほしいと感じた学科もあった。また、指導講評にもあったように、「若いうちは自信をもって失敗してほしい」。

意見 2 物怖じせず、緊張せずに発表できる生徒が増えた。建設工学科のミニキッチン

良いと思った。デザイン工学科の女子生徒には元気さを感じた。多くの支援があって、この発表まで至ったことに感謝の気持ちを忘れないでほしい。

意見 3 発表のレベルの高さに驚いた。建設工学科、デザイン工学科および設備システム科の発表には、社会貢献という高い目的意識を感じた。

自己評価の中間報告について（全日制）

教務部、生徒指導部および進路指導部は中間報告（資料）にもとづいて報告があった。

工業教育部からは、多くの学科が様々な活動をしていることの報告があり、「人の役にたちたいという気持ちを育てていきたい。より良い人材育成をしていきたい。」との報告もあった。

生徒と保護者アンケートの分析結果から、高校に対する満足度、いじめと体罰についての報告があった。

定時制の状況報告について

生徒と保護者アンケートの分析結果を中心に、配付資料にもとづいて活動全般にわたる報告があった。

来年度への提言について

意見 1 自転車事故件数が横ばいなので、自分のこととして受け止めてほしい。被害者にも加害者にもなる可能性がある。今後も継続的にマナーやルールを順守する指導を行ってほしい。

保護者への進路情報の提供内容に「自分の子どもに助言する際に、親としての不安をなくすような情報」を加えてほしい。例えば、企業の人事担当者の話などを聞きたい。

命を守る訓練や AED の使用説明などを継続して行ってほしい。高校生なら、自分だけでなく他人も助けられるような指導もほしい。

アンケート調査によるとボランティア活動を頑張っている。三年間での継続的な指導がほしい。

育友会の行事に参加してもらっているが、総会の参加者数は少ない。何らかの工夫がほしい。

いじめなどは、学級担任に相談すればよいと思うが、そのタイミングが難しいと思われる。入学時に確実に伝えるところから始めてほしい。

意見 2 育友会の関わりで先生に助けてもらった。先生に心配の電話をもらったのは嬉しかった。

総会や地区懇談会の参加者が減ってきている。何らかの工夫がほしい。

意見 3 高校生の危ない自転車運転を止めさせるために、本人の自覚が必要であることを指導してほしい。

参観日や地区懇談会の参加者が少ないのは、その行事に興味をもてない人

が多いのが原因と感じる。学科ごとのホームページで、普段の生活ぶりを披露するなどして、関心を高めるようにしてほしい。また、ホームページが更新されたことをメールで通知してもらえるとありがたい。

投書およびアンケートについて（学校長から）

投書

「教員が生徒一人一人をしっかりと見ていない」

アンケート

「アンケートで尋ねるのであれば、きちんと対応してほしい」

- 意見 1 学級担任の中には一生懸命さにかけてと思われる先生もいたが、概ね対応は良いと思っている。投書できるだけの強さをもっている生徒ではないか。
- 意見 2 先生には恵まれていたと感じる。身近には、恵まれていない人もいた。早くに気付いて、声かけてコミュニケーションをとってほしい。
- 意見 3 実習のレポートを丁寧に見ずに、再提出となった生徒がいた。当人は何処をどのように直したらよいか分からなかった。また、医師の診断書を持参したにも関わらず、無理やり走らされた生徒もいた。
- 意見 4 社会人になったら、自ら正しく言えるような指導もしてほしい。保護者も相談を受けたら、子供の立場にたって対応するようにしていきたい。

6 会議のまとめ

今回（第2回評議員会）は、分掌の中間報告やアンケート（生徒および保護者）などを資料として、意見、提言をいただいた。是非、その内容を精査して今後の学校運営に役立てていきたい。引き続き本校に期待することや地域からの要望を学校に伝えて欲しい。